

令和2年度公営企業局予算見積総括表

電気事業会計

令和2年度予算見積額	2,479,691 千円
令和元年度当初予算額	2,005,364 千円
差引増減額	474,327 千円
対前年度比率	123.7 %

工業用水道事業会計

令和2年度予算見積額	387,053 千円
令和元年度当初予算額	315,180 千円
差引増減額	71,873 千円
対前年度比率	122.8 %

病院事業会計

令和2年度予算見積額	17,738,556 千円
令和元年度当初予算額	16,613,104 千円
差引増減額	1,125,452 千円
対前年度比率	106.8 %

※令和2年度予算見積額には、人件費(概算)を含むため、今後変更となります。

令和2年度 公営企業局予算体系表

1 電気事業会計

		(単位:千円)	
		2年度予算 見積額	元年度当初 予算額
電 気 事 業			
├──	収益的収支	274,101	106,424
│	├── 収益的収入	1,665,587	1,671,396
│	│		
│	│ ── 水力電力料	1,584,028	1,568,808
│	│ ── 雑収益	761	844
│	│ ── 風力電力料	37,397	48,780
│	│ ── 受取利息・受取配当金	24,323	24,704
│	│ ── 駐車場収益・他会計負担金	7,418	7,591
│	│ ── 長期前受金戻入	9,295	17,775
│	│ ── 特別利益	2,365	2,894
│	└── 収益的支出	1,391,486	1,564,972
│	│		
│	│ ── 水力発電費	1,038,166	1,115,662
│	│ ・ 集中監視制御システム更新(除却費及び除却損)	57,426	
│	│ ── 一般管理費	257,749	253,848
│	│ ── 風力発電費	38,125	128,526
│	│ ── 支払利息及び企業債取扱諸費	5,291	5,906
│	│ ── 新エネルギー推進費	2,134	2,023
│	│ ── 駐車場管理費	290	285
│	│ ── 消費税及び地方消費税	45,731	54,722
│	│ ── 特別損失・予備費	4,000	4,000
│	└── 資本的収支	△ 779,633	△ 232,392
│	│		
│	│ ── 資本的収入	308,572	208,000
│	│		
│	│ ── 投資有価証券償還金	300,000	208,000
│	│ ── 貸付金償還受入金	8,572	0
│	└── 資本的支出	1,088,205	440,392
│	│		
│	│ ── 建設改良費	735,321	192,015
│	│ ・ 集中監視制御システム更新	491,931	
│	│ ・ 永瀬ダム共有設備費分担額	159,556	
│	│ ── 投資有価証券	300,000	200,000
│	│ ── 繰出金	20,000	16,108
│	│ ── 企業債償還金・予備費	32,884	32,269

2 工業用水道事業会計

工業用水道事業		2年度予算 見積額	元年度当初 予算額
収益の収支		16,765	13,186
収益の収入		313,485	280,309
給水収益等		205,595	178,520
受取利息・駐車場収益・他会計負担金		4,966	4,998
長期前受金戻入		101,924	95,791
特別利益		1,000	1,000
収益の支出		296,720	267,123
給水費		122,951	106,239
・管路更新基本設計		28,160	
一般管理費		21,450	20,995
減価償却費・資産減耗費		140,354	126,528
支払利息及び企業債取扱諸費		3,516	3,858
駐車場管理費		152	203
消費税及び地方消費税		5,297	6,300
特別損失・予備費		3,000	3,000
資本の収支		△ 90,333	△ 48,057
資本の収入		0	0
資本の支出		90,333	48,057
建設改良費		60,005	26,657
・西野接合井耐震補強工事		17,215	
企業債償還金等・予備費		30,328	21,400

3 病院事業会計

(単位:千円)

2年度予算 見積額	元年度当初 予算額
--------------	--------------

病院事業		2年度予算 見積額	元年度当初 予算額
収益的収支		△ 374,171	△ 488,748
収益的収入		14,624,492	14,173,177
医業収益		10,972,598	10,434,638
入院収益		7,721,152	7,410,400
外来収益		2,965,678	2,751,357
その他医業収益		285,768	272,881
医業外収益		3,651,891	3,738,536
特別利益		3	3
収益的支出		14,998,663	14,661,925
医業費用		14,633,895	14,283,722
医業外費用		291,331	308,374
特別損失		72,437	68,829
予備費		1,000	1,000
資本的収支		△ 320,296	△ 279,910
資本的収入		2,419,597	1,671,269
企業債		1,114,500	417,400
借入金		370,368	382,393
負担金		934,729	871,476
補助金		0	0
資本的支出		2,739,893	1,951,179
建設改良費		1,125,309	427,216
企業債等償還金		1,614,584	1,523,963

令和2年度 公営企業局予算見積の概要

1 電気事業会計

予算見積額

(単位：千円)

(単位：千円)

収益的予算	R2	R元	増減	資本的予算	R2	R元	増減
収入(A)	1,665,587	1,671,396	▲ 5,809	収入(C)	308,572	208,000	100,572
支出(B)	1,391,486	1,564,972	▲ 173,486	支出(D)	1,088,205	440,392	647,813
収支差(A-B)	274,101	106,424	167,677	収支差(G-D)	▲ 779,633	▲ 232,392	▲ 547,241

【増減要因】 風力電力料と営業費用(水力・風力)の減少による。

【増減要因】 投資有価証券償還金と建設改良費等の増加による。

2 工業用水道事業会計

予算見積額

(単位：千円)

(単位：千円)

収益的予算	R2	R元	増減	資本的予算	R2	R元	増減
収入(A)	313,485	280,309	33,176	収入(C)	0	0	0
支出(B)	296,720	267,123	29,597	支出(D)	90,333	48,057	42,276
収支差(A-B)	16,765	13,186	3,579	収支差(C-D)	▲ 90,333	▲ 48,057	▲ 42,276

【増減要因】 香南給水収益と委託料・減価償却費の増加による。

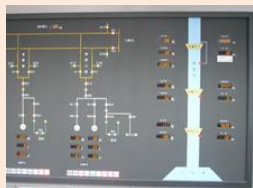
【増減要因】 建設改良費の増加による。

水力発電設備の大規模改修等

1. 集中監視制御システム更新

水力発電所(3か所)を運転監視制御するための機器を更新!
(債務負担行為の現年化)

- ①永瀬・吉野・杉田発電所及び発電管理事務所、総合制御所の機器更新 491,931千円
- ②旧機器の除却費及び除却損 57,426千円



総合監視盤

2. 大規模修繕

水力発電量の安定供給に必要な施設の修繕等を計画的に実施!

- ①永瀬発電所取水口除塵機レーキ修繕 18,700千円
- ②吉野発電所下流護岸修繕 21,252千円



①除塵機レーキ



②護岸

南海トラフ地震対策

鏡川工業用水道事業 管路更新基本設計

概略検討(令和元年度実施)

【目的】
老朽化が著しい優先整備区間(約1.5km)について、耐震管によるバイパスの整備を検討

【検討内容】
交通量、土地利用、地下埋設物等の調査及び道路管理者への占用許可に関する聞き取り等を踏まえ、更新ルート案を選定し、課題及び制約の抽出・整理を行う

基本設計 28,160千円

【内容】
概算工事費等の比較検討を行い、最適ルートを決するとともに、実施設計に向けた条件設定を行う

- ◆基本設計図の作成
- ◆大別工法の提案
- ◆既設管に対する接続方法の検討
- ◆移設対象の明示
- ◆管路口径ダウンサイジングの検討
- ◆概算工事費の算出

再生可能エネルギーの利活用の推進

◎地域振興につながる再生可能エネルギーの利活用に向けて、市町村等が実施する取り組みを積極的に支援!

- ・一般会計繰出金 20,000千円
- ・市町村補助金 10,000千円

3 病院事業会計

○あき総合・幡多けんみんの両県立病院は、安全・安心な住民生活(QOL)を支える地域の中核病院として、「第6期経営健全化計画」の重点取組項目の着実な推進を図ることにより、質の高い医療の持続的な提供が可能となる健全経営を目指します！

予算見積額

(単位:千円)

収益的予算	R2	R1	増減
収入 (A)	14,624,492	14,173,177	451,315
支出 (B)	14,998,663	14,661,925	336,738
収支差 (A-B)	△374,171	△488,748	114,577
経常収支	△300,737	△418,922	118,185

【増減要因】 医業収益(5.4億円)等の増

資本的予算	R2	R1	増減
収入 (C)	2,419,597	1,671,269	748,328
支出 (D)	2,739,893	1,951,179	788,714
収支差 (C-D)	△320,296	△279,910	△40,386

【増減要因】 電子カルテシステム更新(8億円)の増

医療機能の強化に向けた機器等の整備

あき総合病院



- 電子カルテシステム(更新) 795,263千円
- X線骨密度測定装置(更新) 9,196千円

幡多けんみん病院



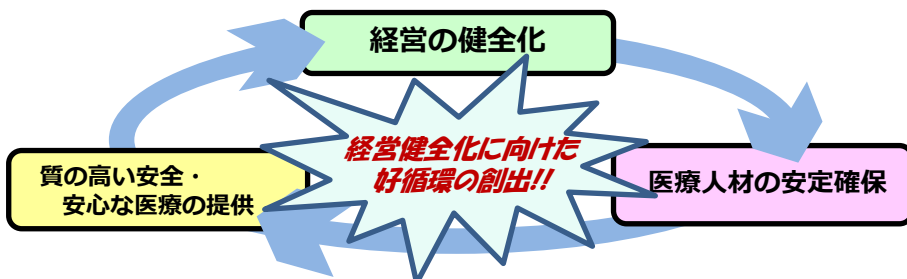
- 人工腎臓装置(更新) 68,200千円
- 多目的デジタルX線TVシステム(更新) 57,200千円
- 画像診断処理ワークステーション(更新) 34,100千円

第6期経営健全化計画(H29～R2)と実績

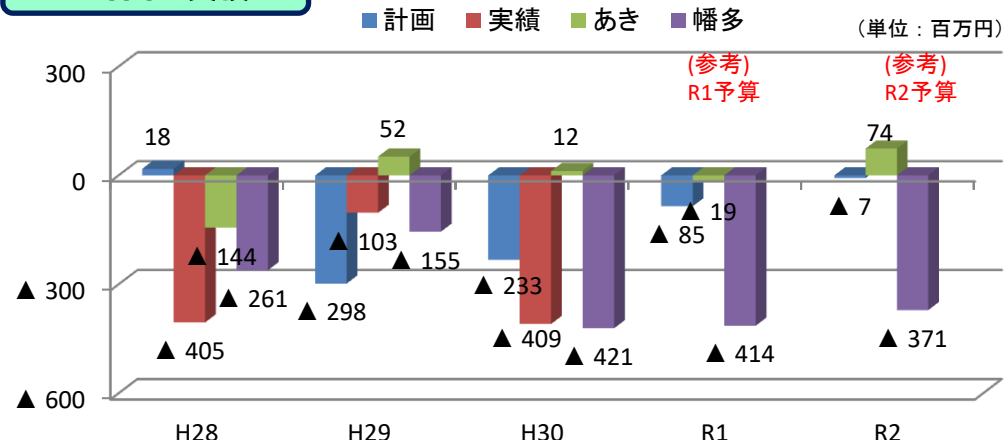
～病院事業全体での経常収支の黒字達成を目指す！～

1.重点取組項目の着実な推進

1. 県民が地域地域で安心して住み続けられる医療提供体制の整備！
2. 医療機能の向上による経営の健全化！
3. 医療人材の安定確保！
4. 南海トラフ地震対策の充実・強化！



2.計画と実績



鏡川工業用水道 管路更新基本設計委託 C=28,160千円

現状及び施策の必要性

管路については、ほとんどが法定耐用年数(40年)を経過し、未耐震であるが更新には多額の資金が必要になるため、まずは劣化が著しい**優先整備区間**(筆山配水口から南ノ丸配水分岐地点までの約1.5km)について耐震管によるバイパス整備を検討する。

概略検討の状況(R1年度)

【現況調査】

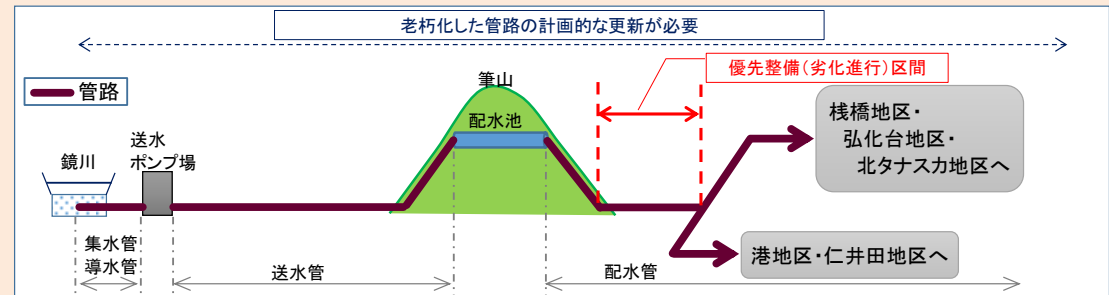
- 現況調査(交通量、土地利用、水路等の状況に関する現地踏査)
- 地下埋設物等(電気・ガス・上下水道等)に関する資料の収集・整理
- 道路管理者への占用許可条件等に関する聞き取り調査

【ルート概略検討】

- ルート選定
→現況調査を踏まえ、4案程度の更新ルート(案)を選定

【課題等の整理】

- 更新ルート(案)に対する課題及び制約の抽出・整理



基本設計(R2年度)

概略検討において整理した課題等を踏まえ、概算工事費等の比較検討を行い、最適ルートを決定するとともに、実施設計に向けた条件設定を行う。

- 基本設計図(1/500平面図、横断面図、縦断面図)の作成
- 大別工法の提案(推進工法については、推進及び立坑位置の検討)
- 既設管に対する接続方法の検討
- 移設対象の明示(関係機関との協議資料作成)
- 管路口径のダウンサイジングの検討
- 概算工事費の算出

今後の計画

【R3年度】

- 実施設計(工事発注図面の作成)
- その他必要な調査(地質調査等)

【R4年度~】

- 管路更新工事

事業スケジュール(案)	令和元年度												令和2年度	令和3年度	令和4年度以降		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
公告入札等																	
契約																	
委託業務着手																	
委託期間(平成31年4月~令和2年2月)	委託期間(平成31年4月~令和2年2月)																
委託業務内容を踏まえた方向性検討																	
基本設計																	
実施設計																	
工事																	
給水料金の検討及び利用者への説明																	
協議会立ち上げ																	
条例改正																	

あき総合病院

1. 10月末現在における医業収益の状況

(単位:百万円)

医業収益	入院	外来	合計
R1計画(A)	1,665	682	2,347
R1実績(B)	1,756	730	2,486
H30実績(C)	1,733	704	2,437
計画比(B)－(A)	91	48	139
前年度比(B)－(C)	23	26	49

2. 主要指標

	単位	H29		H30		R1		(参考) H30.10月末 実績		
		計画	実績	計画	実績	計画	実績 (10月末)			
経営指標	一般	1日平均入院患者数	人	149.5	162.1	149.9	160.3	150.1	160.5	158.7
		入院診療単価	円	42,842	41,122	43,521	43,558	44,211	43,487	43,670
		病床利用率(稼働)	%	85.4	92.0	85.7	91.2	85.8	91.5	90.4
	精神	1日平均入院患者数	人	76.8	78.3	76.8	78.9	76.8	80.3	77.9
		入院診療単価	円	15,491	15,002	15,491	15,117	15,491	15,264	15,034
		病床利用率(稼働)	%	85.4	87.0	85.4	87.6	85.4	89.2	86.6
診療機能	新入院患者数	人	3,206	3,217	3,206	3,243	3,206	1,871	1,990	
	手術件数	件	875	879	883	847	891	556	500	
	救急車受入件数	件	1,724	1,876	1,732	1,912	1,740	1,088	1,180	
	紹介率	%		19.7		20.8		18.9	19.8	
	逆紹介率	%		28.6		31.1		28.7	29.0	

注) 病床利用率の病床数は、結核を除く稼働病床数(一般:175床、精神:90床)

診療応援の実績

	室戸岬 診療所	森澤 病院	津田 クリニック	室戸中央 病院	田野 病院	佐喜浜 診療所	合計
H30	20	60	10	9	-	-	99
R1 (10月末)	12	40	-	7	1	2	62

在宅復帰率

	H29	H30	R1 (10月末)
一般病床	89%	90%	89%
地域包括ケア病床	78%	77%	77%

地域連携機能の強化

	H25	R1	R2(予定)
地域連携室(Ns.SW)	5名	10名	10名
地域連携室(委託)	1名	1名	1名

訪問看護の実績

	H29	H30	R1(10月末)
身体科	424	293	202
精神科	235	194	87

幡多けんみん病院

1. 10月末現在における医業収益の状況

(単位:百万円)

医業収益	入院	外来	合計
R1計画(A)	2,641	945	3,586
R1実績(B)	2,708	1,018	3,726
H30実績(C)	2,450	922	3,372
計画比(B)－(A)	67	73	140
前年度比(B)－(C)	258	96	354

2. 主要指標

	単位	H29		H30		R1		(参考) H30.10月末 実績	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績 (10月末)		
経営指標	1日平均入院患者数	人	229.2	230.2	232.8	213.0	236.6	226.6	211.2
	入院診療単価	円	51,693	51,617	51,800	53,526	51,813	55,844	54,184
	病床利用率(稼働)	%	73.7	76.7	74.9	73.0	76.1	77.7	72.3
診療機能	新入院患者数	人	5,891	5,847	5,983	5,539	6,098	3,481	3,327
	手術件数	件		1,912		1,788		1,108	1,032
	救急車受入件数	件		2,633		2,633		1,580	1,543
	紹介率	%	33.8	32.5	36.8	33.7	39.8	33.6	33.7
	逆紹介率	%	63.8	74.8	65.8	75.4	67.8	62.5	77.5

注) 病床利用率の病床数は、結核・感染症を除く稼働病床数(一般:H30.2月～291床)

診療応援の実績

	大月 病院	幡多希望 の家	清南 病院	合計
H30	33	-	-	33
R1 (10月末)	13	14	6	33

在宅復帰率

	H29	H30	R1 (10月末)
一般病床	87%	87%	88%

地域連携機能の強化

	H25	R1	R2(予定)
医療相談室(SW)	2名	3名	3名
入院支援センター(Ns)		5名	5名
地域医療室(委託)	3名	3名	3名

1. 目標達成に向けた重点取組項目の推進

(1) 県民が地域地域で安心して住み続けられる医療提供体制の整備

- ①地域医療を支える医師派遣システムの推進！
- ②地域の医療機関や福祉関係者等との連携の強化！

(2) 医療機能の向上による経営の健全化

- ①DPC機能評価係数のアップに向けた取組！
- ②重症患者の診療管理機能の強化(あき)！
- ③病院機能評価(現認定 あき:令和3年2月、幡多:令和4年2月まで)の更新に向けた院内業務の再整理・改善！
- ④電子カルテの更新による機能の向上と医師負担の軽減(あき)！

(3) 医療人材の安定確保

- ①医師をはじめとする医療スタッフの安定確保！
- ②専門医・初期臨床研修医の積極的な受入れ！

【初期臨床研修医数】

	R1年度			R2年度(予定)		
	1年目	2年目	計	1年目	2年目	計
あき	3名	2名	5名	4名	3名	7名
幡多	3名	6名	9名	5名	3名	8名

(4) 南海トラフ地震対策の充実・強化

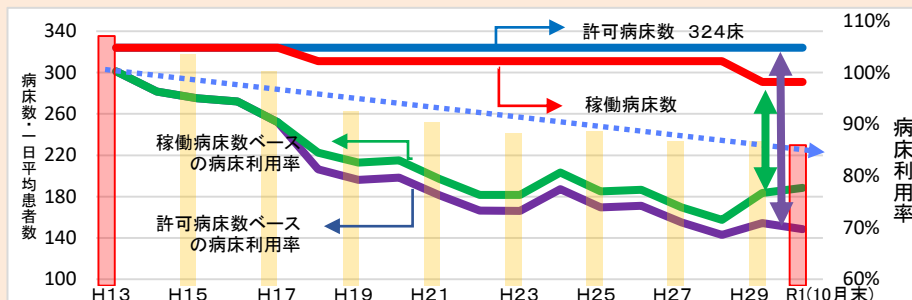
- ①災害拠点病院としての役割・機能の発揮！
第4期南海トラフ地震対策行動計画への対応！
・BCPの不断の見直しと訓練により明らかになった課題への機動的な対応 → 機器・備品等の整備
(緊急用浄水装置の更新(あき)、防災用ヘルメット、診療用簡易ベッドの購入(幡多))

2. 経営健全化に向けた取組

(1) 幡多けんみん病院の稼働病床数の見直し

現状

- 幡多圏域を取り巻く環境
 - ・過剰な急性期病床数
 - ・人口減少と高齢化
- 幡多けんみん病院の病床利用率の低下



稼働病床の見直し

(平成28年度) (平成29年度) (令和2年度(予定))
311床 → 291床 → 262床 (▲29床)

(2) 経費の見直し

材料費

在庫数量の適正化

委託費等の見直しの検討

委託料及び体制加算の最適化

(3) 一般会計負担金・借入金

(単位:千円)

	R1年度	R2年度	増減
負担金 A	3,569,250	3,694,944	125,694
収益的予算	2,697,774	2,760,215	62,441
資本的予算	871,476	934,729	63,253
長期借入金 B	382,393	370,368	△ 12,025
計(A+B)	3,951,643	4,065,312	113,669